



平成10年10月19日
日本原子力発電株式会社

再発防止に向けた自己総点検の実施について

当社は、今般の原電工事（株）による使用済燃料輸送用キャスクの中性子遮へい材に係るデータ書き換え問題を踏まえ、この問題を当社自らの問題として真摯に受け止め、13日付けで「輸送用キャスク問題対策推進本部」を設置し、15日付けで当社および関係会社に対して、モラルの遵守と品質管理の徹底について社長告示を出しております。

今回の事態を招いた原因として、これまでの原子力に係る一連の不祥事の反省が活かされておらず、管理体制等に共通の体質があるのではないかとこの観点から、本日より、一日も早い社会的信頼の回復へ向けて、全社を挙げて再発防止へ向け、人と組織に係わる管理体制や品質管理等の技術的事項の自己総点検を実施することになりましたのでお知らせします。